

う な ば ら 海 原

題字 河原孝好先生

発行
平成 25 年 5 月 1 日
第 37 号
海原会
編集責任者 小西洋也

〔海原会事務局〕
〒 169-0072 東京都新宿区大久保 3-6-1 海城学園
TEL 03-3209-5880 FAX 03-3209-6990
E-mail : unabara@kaijo.ed.jp

特別対談

創立125周年に向けて 学園とOBの強固な関係構築を目指す

海城学園の古賀喜博理事長と海原会の徳光和夫会長の
お二人に、これからの学園の目指す姿と同窓会との関係、
海原会の役割 将来像などについて対談して頂いた。

多様な分科会の

集合体としての海原会

古賀理事長 昨年の総会も盛り上がりましたよね。徳
光会長のおかげです。OB会も随分変わってきました。若
いOBの人たちが積極的に活動に参加する兆しがみえ

古賀理事長の時代で本学が、グレードが上がったとい
うことで、OBとしてはうれしいわけですが、年齢の離れた現
役海城生がOBにもう一度母校を思い出さすきっかけを
作ってくれたということが大きいですね。その意味では理
事長の建学の賜物です。

古賀 良い教員がいて良い生徒ができるし、それに良い
先輩ですよ。学校にとって海原会、卒業生の同窓会とい
うのは宝物なんです。間違いない。OBは知識の源泉、経
験者の集まりです。これをどう活かすか活用できている
かという点で海城だて、まだまだ不十分です。私立は公立

以上にそこが力に
なるはずだと私は
考えています。



ますし、役員の方も毎週土曜に学園にみえて、学生時代
より熱心に皆さんが張り切っていますね。
徳光会長 僕は何もやっていないのですが、海原会の幹
部の人たちがしっかりやってくれているからですよ。

す。その分科会があつちとこちで合流して、人間の輪が
大きくなっていく、そうなるかと思っていて、たまた
ま模索中ではありますが…。分科会というのはいろんな
くくり方があると思うのですよね。土業会もそうですし

徳光 いま私が考
えていますのは、海
原会自体は小さな
拠点であればよろ
しいんじゃないか、
代わりに海原会と
いう旗の周りに分
科会みたいな組織
がたくさんあつた
ら良いな。とし
て、分科会の横のつ
ながりを作ってい
くという形ができ
るとよろしいので
はと思っています

海原会総会のご案内

■ 開催／平成25年6月1日(土) 午後2時受付 午後3時開会

■ 申込／5月24日(金)までに総会・親睦会への出欠をお知らせください

今年で92回目を迎える海原会も不易流行、積み重ねた歴史と新たな息吹の中で活発化しております。各種のイベント開催のほか地域や同業者や趣味などを軸とした様々な分科会が作られ、会員同士の交流、親睦の場が広がっています。総会はそのような海原会活動を身近な存在にし、同窓との親交を深めるよい機会でもあります。また大きく変貌を遂げる母校の姿を直接知ることのできる貴重な機会でもあります。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

◆第一部 総会

◆第二部 親睦会

参加費 3,000 円 学生 1,000 円
(当日受付でお支払いください)
本年卒新会員は無料です

記念品を贈呈します

今総会に出席した対象者の方々には母校にちなんだ記念品を贈呈します。
今年の表彰対象の卒年次は以下の通りです。各卒業年次の皆さま、お誘い
合わせてご出席ください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ■ 祝卒業60年 … 昭和28年卒 | ■ 祝卒業30年 … 昭和58年卒 |
| ■ 祝卒業50年 … 昭和38年卒 | ■ 祝卒業20年 … 平成5年卒 |
| ■ 祝卒業40年 … 昭和48年卒 | |



変わっていくのではないかと思うのです。

変革期の学校

人間形成を目指す教育にシフト

徳光 高校卒業直後とか大学時代に海原のOB会になかなか気持ちに向くとは思いませんが、卒業して10年以上たつて社会にでて経験を積んだ人には 海原会はメリットもある何か和めるつながりみたいなものを持っているんじゃないかなと思うんですね。先ほどの分科会とかクラス会とか小さな飲み会でもいいと思います、こういうことが海原会の力になってそれが結果していきますと、なんでもかんでも結びつくのが良いかわかりませんが、こういうことを通じて皆さんが海原会の会員であるという意識をもつて頂けることが一番ありがたいことです。

古賀 同窓会もそうですが、学校自体も変わってきています。日本の学校、教育が変わってきているともいえます。うちなんかはその最先端をいっている学校なんです。

今までの日本の学校は40〜50人が1つの教室に押し込められて、教壇で教師が板書して、生徒はそれを必死に書いて覚えるという一方的なものでした。これからは生徒同士でいろんな意見を集めながら結論を出すことが大切になってきます。クリティカルシンキング、与えられたものをそのまま受け取るのではなく自分で考えて結論を出す力が求められるのです。もともとフィンランドの教育で始まったことですが、そのフィンランドの成果をみてうちも東大に何人とかという学力の成果を単純に追いかけるのではなく、人間教育という面に大きく舵を切ったのです。

徳光 中高一貫にされたところからですか。

古賀 海原会が小さな本部でその周りにフランチイズというのか衛星のような形で分科会が沢山できると言うのは良いですね。父母会は希望された方に入ってもらうのが良いんじゃないですか。保護者の方には錚々たる人がいらつしやいます。びつくりする人もおられますよ。

徳光 なるほど。それは常任幹事会に諮ってみましょう。

古賀 海原会員はおよそ33000人いるんですね。その人たちが一堂に会してというのは実際無理かもしれません。そこそこの人の方がいい訳ですから卒業生と

るか考えるんです。他にもいろいろあるんですけど、もうひとつドラマエデュケーションというプログラムがあります。これはドラマの一場面を静止画で演ずるというものです。お互いの立場とかいろんなものを解き明かしていくんです。そういうのを通じて育ってくる子は違うものを持つてるんじゃないかなと思う。学力の峰と人間の峰の二つを今の海城ならつくれるんじゃないかなと思って取り組んでいます。

徳光 そういった海城のOBが社会のリーダーになれば国が変わるんじゃないかな。感性が磨かれるのは中高から20くらいまででしょう。そういう取り組みは良いですね。

中学でバラバラだと仲間との言葉を失ってコミュニケーションができないまま大人になるか考えるんです。他にもいろいろあるんですけど、もうひとつドラマエデュケーションというプログラムがあります。これはドラマの一場面を静止画で演ずるというものです。お互いの立場とかいろんなものを解き明かしていくんです。そういうのを通じて育ってくる子は違うものを持つてるんじゃないかなと思う。学力の峰と人間の峰の二つを今の海城ならつくれるんじゃないかなと思って取り組んでいます。



海原会は人材の宝庫 生きた教育に協力を

徳光 ところで、あと数年で125周年ですが、何か考えていることはありますか。

古賀 100年までは10年ごとに式典を開いてきました。ここから先は25年ごとと決めたいです。100周年のときにはパーティーの司会をしていただきましたね。でも、これからはそういう時代じゃない。125周年は校内の教育環境をよくすることを計画しています。校舎を1つつくります。理科教育の殿堂を作る計画を進めます。ハードとして校舎を作ること決まりました。ソフトに関して、理科の人たちに話を聞いているところです。今までに無い、一時代先の理科は理科教育とはどんなものだろうと。キャンパス全体を理科的に考えていきます。例えば、自然エネルギーを使ったインフラの導入とか。



最後までナスカイらしく

那須高原海城中学・高等学校教頭

(平成3年卒)

塩田 顕二郎

まず、はじめに大変残念なことを皆さまにお伝えしなければなりません。東日本大震災によって被災し、現在多摩市に移転している那須高原海城中学校・高等学校は、那須に戻ることを断念し、生徒募集は今後おこなわず、在籍している生徒が卒業した時点で閉校する決定を昨秋にいたし



理科をひとつのテーマとしてキャンパスを変えたいと思っています。これは先にお話した

いわば社会的な教育に加えて論理性や理論的な面の教育を強化することでさらに

トータルな人間教育を目指すものです。

徳光 若者の柔らかな頭脳ですからね。とてもない発見とか発明とかあるかもしれません。なが出てくるかわかりません。

まさに次へ向けて踏み出した海城学園ですが、海原会としてお手伝いすることはあります

古賀 そういうと

きの人材なんですよ。海原会には人材をい

これからの学校は、学校だけで何かをやろうとしたって限られたことしかできません。学校教育には期待が高まっていますが、学内

と、いかに外と繋がるかが鍵になってきます。海外も含めいろんなところとつながっていろんな人材をいただいて、在学している生徒に最高の教育を提供する、それが私たちが求めていることです。それをできるかどうか勝負じゃないかと思っています。

海原会という人材の宝庫からご提供いただきたい。特任教授みたいだね。海城OBは各分野にいろんな方がいらっしやいます。ただ、学園としては把握はできていません。分科会がたくさんできたら、まさに人材バンクですね。生きた情報提供者が海城OBの中にはたくさんいます。それは絶対やって頂

きたい。お金は学校がやるから、それ以外をやってほしい。具体的に言うなら後輩を育て

求に心えられないんです。

徳光 実現性あるかなあ。ありますよね。学校との新たな結び目ができていきますね。海原会頼んだぞ、ということですね。かわい後輩ですよ、年が離れても。電車で学ラ

最後になりますが、那須校はどうする予定ですか。教育の理想形でしたよね。あそこ

には戻れないですか。

古賀 那須は先行教育の最たるモノでしたが、震災と原発事故で避難ということになってしまいました。もうあの場所に帰ることは

今のところ(多摩市)でやっていくでしょう。まずは今いる生徒を卒業させて、一時閉校にするつもりで対応します。

徳光 残念ですね。人間教育という面では那須は素晴らしいなと思っています。生徒の会話があるしね。海城学園として生徒たちに教え、教えられたことはあったと思います。那須での教育を本校に活かしたら良いですね。ありがとうございました。

ました。震災による被害のみならず、その後の原発事故による放射線量の問題、それに付随する風評被害の影響が大きく、24時間生徒をお預かりし広域募集をおこなう学校としては今後の継続が大変厳しいと判断したわけです。

生徒、保護者、卒業生、教職員、那須海城に関わるすべての人たちが大きな衝撃を受けましたが、いまは「最後までナスカイらしく頑張ろう!」「少人数を活かしたナスカイならではの教育を実践していこう!」と今まで以上に力を合わせて日々の学校活動に取り組んでいます。

こうした生徒の思いは、3月の卒業式での卒業生の「別れの言葉」にこめられていますので、その一部をご紹介します。

「別れの言葉」

『君たちが、卒業を迎えたときに、「く

そつ、もつとできたのに、まだやりたいことがあるのに」悔しくて涙がこぼれるほどに、そう思っています。

私はナスカイでの六年間を私なりの全力で走り続けた。時には、遠回りをしたり、道を間違えて、悔しい思いをしなが引き返したりもした。

先に見える広い道をノーブレーキで進んだこともあれば、先が見えないけもの道を恐る恐る進んだこともある。だからこそ私は、オリンピックの金メダルを取ったことでもないし、ワールドカップの優勝経験もないからわからないけど、それに勝るとも劣らないぐらいの達成感を得られているんだと思うし、今ここに立つて話ができていると涙が出るんだと思う。

私はこの涙を、情けないとも、ダサいとも思わない。私が走り続けた証だと思

から。

君たちはどうだろうか、全力で走っているだろうか、来年、再来年、三年後、四年後、君たちの卒業はどうだろうか。私は、それでこそナスカイ生だと思っているし、君たちがそうであると信じている。

結びに、これから何事もなく現在の中心が卒業の日を迎えられること、そして、またいつの日かナスカイのKの旗が那須の地に上り、風を受けはためく日がいつか来ることを願う「別れの言葉」に致します。』

変わらぬ支援を

このように寮生活で育まれた絆によって中学3年生から高校3年生まで69名の生徒が、多摩で頑張っています。海原会の皆さまは今後も変わらぬご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

平成25年度 那須校大学入試結果

国公立

大学	総数
東京	1
首都大学東京	1
東北	1
岩手県立	1

私立理系

大学	総数
鶴見	1
日本	4
玉川	1
東海	2
金沢工業	4
愛知工業	1

私立文系

大学	総数
名城	1
中京	3
奥羽	1
日本薬科	1
近畿	1
東京工科	1
東京都市	1
東洋	2
東京農業	1
東邦	1
立命館	1
東京理科	1
酪農学園	1
北里	1

大学	総数
上智	1
早稲田	1
青山学院	1
慶應義塾	3
洗足学園音楽	1
杏林	1
文京学院	1
東洋	1
拓殖	1
帝京	1
学習院	1
玉川	1
成蹊	1
東京工芸	1

大学	総数
立命館大学	2
甲南	3
関西	1
麗澤	1
中央	1
駒沢	1

2013年3月13日現在

な出合いを! 活動にご参加下さい



ことは9月14・15日です

海原会サロン

お陰様で「海原会サロン」は回を重ねるたびに大盛況を頂き有難うございます。今年で4回目を迎えます。海原会サロンは海城祭(文化祭)の一室をお借りして、在校生の活動と一体となつて開催しております。期間中は全館開放して行われます。懐かしい母校に是非お立ち寄りください。

海原会OB諸兄にとっては、数年前卒業した方も、数十年前卒業した方も、思い出の詰まった場所であり、目の当たりに見る母校の興隆に感慨一人かと思ひます。

今年もサロン会場ではかつての母校の今の姿、昔の姿を資料展示します。明治大正時代の海

城、戦後の海城、今の海城など写真で展示、改めて母校海城の姿を貴方の生きた時代と考えることも、歴史の中の一人として感じると思ひます。最近、東京駅がつくられた当時の駅舎に復元、話題になりました。同時に母校海城が八重洲口付近にあったこと(八重洲校時代)。更に今の厚労省跡地に海城があったこと(霞ヶ関校時代)などを知つて頂くと、関心もさらに高まるものと思ひます。つまり「海城とはこういう歴史を持った学校だったのか」を認識する機会になると思ひます。近年、サロン会場に訪れる方はOB諸兄はもとよりPTAのお母様、受験希望の御家族、関係者の方など、つまり「海城とはこういう学校だったのか」に関心をもつ人たちが多く訪れております。新大久保から母校までの道のりも変わりました。あのチューインガムの匂いを思い出して(今匂いはありません)ご来校ご来場お待ちしております。(山本満男 記)



ご家族揃つてどうぞ!

旅行会・見学会

海原会の交流を更に深める意味でも昨年一昨年と見学会を実地して、大変好評を頂きました。第1回は横須賀にある記念館「三笠」を見学。旗艦三笠は母校出身の石川達也氏(現保存会常務理事)のご厚意を頂き、第2回はちよつと足を延ばして、信州上田の



海原会ゴルフ会

第一回は大盛況でした。今回も多くの方々の参加を得て一回目を超える大会にしたいと思つております。場所は前回と同じです。前回不本意だった人もリベンジに、また初めて参加される方は新しいコースに挑戦して頂きたいと思ひます。今回は前回の経験を生かしてパーティーでもさらに皆さまに楽しんで頂けるような企画を検討中です。皆さまとまた楽しい一日を過ごせることを願つております。コースでお会いしましょう。

実行委員長 吉岡幸夫

第2回 海原会ゴルフ大会のお知らせ

開催日 平成25年10月11日(金)

開催場所 豊里ゴルフクラブ

〒300-2615 茨城県つくば市大字田倉5185

Tel: 029-847-0011 Fax: 029-848-1311

※クラブバス送迎バス有(つくばエクスプレス: 研究学園駅より)

競技方法 18ホール ストロークプレー(新ペリア方式)

参加資格 1) 海原会会員
2) 海城学園関係者

参加費用

1) プレー料金 13,500円

(グリーンフィ、キャディフィ、カートフィ、諸経費、昼食、パーティ代、ゴルフ場利用税、消費税含)

※朝食、昼食時のドリンク、コース売店、ショップのご利用代金は別

2) 参加費 3,500円

応募締切日 平成25年7月27日(土)

応募方法

- ☐ 海原会総会出欠はがきのゴルフ会の参加欄を丸で囲んで返信ください
- ☐ 海原会ホームページ(<http://unabarakai.jp>)から申し込み
- ☐ 海原会事務局 ファックス: 03-3209-6990

メール: uabara@kaijo.ed.jp

※ご注意 学園へのお問合せはご連絡ください。

ゴルフ大会の景品や賞品の寄贈を歓迎します。
事務局までご連絡ください。

海原会活動に新た

野球部応援

夏の甲子園に向けての母校の野球部を徳光団長を筆頭に応援しております。勝も負けるも、いつに応援団の手に掛かっておりますので、1人でも多く参加するように小旗を用意してお待ちしております。



今年の野球部はどうだろうかという話題になり、4月中旬のある日野球部顧問の中村久憲先生とキャプテンの小林勇士君をインタビュしました。
(昭和33 石原長夫)

○今年はどうなチームですか？

現在は夏の大会に向けて3学年が揃った状態で練習をしている。監督が田中先生から梶先生に代わり新しい体制になった。現在は39人の部員で、高3が13人、高2が6人、高1が20人である。昨秋、今春と部員が19人しかなく、今の高1が入るまでは人数が少なく、1人で複数のポジションをやっている。守備位置を固定できないこともあって安定しないこともある。このチームはピッチャー主体のチームなので、エースでキャプテンで6番を打つ小林勇士選手存在は大きい。他のピッチャーともそのことを話し合っている。

小林君は3年前、ベスト16になった時に勝った後で球場で歌った校歌は凄く良かったので、後輩達にも感じてもらいたいと思った。

○夏に向けての目標は？

昨夏の東京大会は1回戦で敗れたが、一昨年はベスト32校、更にその前年はベスト16校まで行っている。今年はその上を狙って目標をベスト8とした。ベスト8に行くには強豪校といわれるチームとの対戦が1、2回はある。そこと当ても自分たちの野球をして勝てるようにしたい。守備は投手中心なので、守りは失点を5点以内とし、攻撃では5点以上取るとしている。

○最近のOBとの交流は？

先輩の指導は卒業して間もない人より、40代、50代の方が5、6人来られ熱心に指導して下さい。東京6大学でメンバー登録されている人は慶応に1人、東大に1人だが、更に東大に2人今春入学したので登録されるだろうとのことだ。彼らの活躍を期待しよう。

野球部の目標達成を期待しよう！

海原会賞

渋谷浩之君



勉学だけでなく学園生活の中でユニークな活動をした生徒を表彰する海原会賞は今回は渋谷浩之君に授与されました。渋谷君は中学3

地域通貨を研究 地域活性化の活動支援

年生の時卒業論文で地域活性化の方策として注目されている「地域通貨」について取り上げたのをきっかけに、自らも様々なアイデアを出しながら高校の3年間、地域活性化の活動を続けてきたと言います。

話を聞き論文をまとめるうちに逆にアトム通貨の普及、地域活性化の活動の協力を求められたという。「群馬や北海道まで行きました。次の世代を担う小学生に普及することが大事だと提案して、地元の小

学校でアトム通貨の話などをしました。

「段々とシャッター通り化していく地域の商店街を見て何とかならなにかと思っていた時新聞で早稲田・高田馬場の商店街の「アトム通貨」というものを知った」と言います。

いまや地域通貨と商店街復興の「専門家」となった渋谷君、「大学に入つて今後は日本経済の再生の問題にもとりくみたい」と意欲をみせている。
(小西洋也 記)

吹奏楽団第20回定期演奏会 5月6日(祝日) なかのZERO大ホールで開催

海城学園の吹奏楽団の定期演奏会が今年も東京・中野の「なかのZERO大ホール」で開かれます。毎回趣向を凝らした楽しい演奏で満員の会場を湧かせていますが、今回は20回目となる節目の演奏会。また一段と熱のこもった演奏が聴けることでしょう。入場は無料です。

日時 平成25年5月6日(月) 13:30開場 14:00開演
場所 なかのZERO大ホール

(JR中央線・東京メトロ東西線中野駅南口徒歩8分)

指揮 佐藤靖久

演奏曲目 海の歌/R.ミッCHEル
わらべうたつづり/編・小島里美
祝典組曲/A. ウェニヤン
天空の城ラピュタ Highlights/作曲・久石譲 編・真島俊夫
レトロ歌謡曲集/編・山下国俊 他

問い合わせ 03-3209-5880 (海城中学・高等学校)

楽団ホームページ <http://kaijowindensemble.com/>

入場無料



「無言館」。母校出身で館長の窪島誠一郎氏のご厚意を頂きお世話になりました。いずれもご家族揃っての参加、この有意義な私たちは海原会が始まって以来の交流会となりました。有難うございました。

本年も皆様のご要望を得て現在計画中です。計画案としては、麻布にある鍋島藩「古賀喜三郎と賢崇寺」その周辺福沢諭吉墓地見学、九十九里にある重要文化財「在った！海城の歴史的校門」と蛤焼き満喫の旅。皇居周辺「海城ゆかりの地をゆく」麹町・霞ヶ関・八重洲口。岩手北上展勝地にある「利根山光人記念美術館」と鬼の館見学、などなど。別コースとして松戸「聖徳学園丸ごと利根山光人壁画」見学、中でも聖徳小学校会館の16mもある大壁画は見ものです。などを検討中。

尚、これ以外皆さまのアイデアなど御希望、御提案頂ければ幸いです。又、日程など決まりましたら、海原会HP、常任幹事会、海原会サロンにてお知らせいたします。

問い合わせ 090-7264-8977、
Eメール Yama2459@ybb.ne.jp 山本満男まで

〈メディア会〉

総勢39名が参加 海原メディア会が正式発足

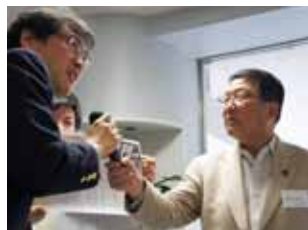
海原メディア会が、華々しく賑々しく発足しました。

平成25年3月16日（土）午後1時から、海城学園カフェテリア3階に於いてメディア会設立総会が開催されました。

出席者は39名。個々人の卒業年は、平成16年を始めて昭和20年まで、半世紀を超える59年間に亘ります。職種は、広告、放送、出版、IT、新聞、演劇等々メディア界を網羅している感があります。

第1部総会は、最初に徳光海原会会長が開会挨拶に立ち、会員にはメディア関係者が多数いるので、相互の親睦を図ると共に、生徒・学園の興隆に寄与したく、会を設立した旨のお話がありました。

次に小西会長（S41）が、会則、組織案について説明し、原案通り承認されました。続いて、直近卒業年順に、全員が自己紹介を行いました。業界のなせる業か、はたまた海原会員ならではの、若きも、老いも、語りは達者です。



海原メディア会組織・人事

会長	小西洋也 (S41年卒)	元日本経済新聞社
副会長	鈴木雅彦 (S34年卒)	元第一広告社
	鷲田和雄 (S37年卒)	元博報堂
	新島好雄 (S41年卒)	元読売新聞社
	中野匡人 (S57年卒)	現TBSテレビ
	田所直喜 (S58年卒)	現日刊競馬新聞社
事務局長	松島義人 (S41年卒)	元ゴルフネットワーク
事務局	鈴木武道 (S62年卒)	(有)ワニプラン(出版編集)
	松下憲一 (H10年卒)	現日本文芸社
	安本圭佑 (H16年卒)	(株)スフィダンテ(ITアプリ開発)
監査役	鈴木莊介 (S41年卒)	元平凡社
名誉顧問	植木昭夫 (S20年卒)	旺文社 前海原会会長
	泊 懋 (S24年卒)	東映アニメ前会長
	徳光和夫 (S34年卒)	日本テレビ 海原会会長

第2部親睦会は、植木さん（S20）の現役万葉集講師である話

と乾杯の発声で始まりました。中頃、ずっと現役アナウンサー・徳光会長が、マイク片手に各人にインタビューして大いに場を盛り上げていた所、日向さん（H9）が登場し、トランプを使ったマジックの妙技を披露してくれました。同その見事に驚嘆し拍手喝采でした。やがて別れを惜しみつつ、泊さん（S24）挨拶で閉会となりました。

海原メディア会は、年1回1月最終土曜日に総会を予定しております。メディアに関わる仕事をされている、またされていた方などなたでも会員になれます。4月15日現在登録者は51人となっていますが、メディア会に関心のある方は海原会事務局へメールまたはファックスでお問い合わせ頂くか直接海原メディア会事務局（info@jinukyoku-unabaramedia.com）にメールで連絡ください。（S41年卒 新島好雄 記）

〈士業会〉

裁判所見学など活動開始 「法律」を軸に交流深める

昨年10月に発足した海原士業会は現在40余名の会員で活動をしています。『会員相互の親睦並びに、会および海原会の向上発展を期するとともに、海城学園の興隆に寄与することを目的とする』という会則の精神のもと、設立総会後は新年会、ナスカイ生の裁判所見学引率、海原会への会計幹事紹介、第1回総会といった活動をしてきました。

他校では法曹に限る業種別同窓会があるようですが、海原士業会では法曹に限らず、「士業」という枠組みで活動を行っています。会員には弁護士・税理士・公認会計士・建築士・社会保険労務士・弁理士・不動産鑑定士・行政書士・土地家屋調査士・SEOコンサルタントなど様々な分野で活躍される方がいて、専門分野は違えど、法律を扱う点では共通しているため気付きも多く、知的刺激の多い交流となっています。

士業会の二員となると、改めて海城OBという立場を意識するもので、会員が仕事先や弁護士会などで知り合った方に高校時代のことなどお話しする機会が増えます。そうすると、なんとお互い海城卒だったということも多く、それがきっかけで入会される例も少なくありません。士業における海城学園の存在感には驚くばかりです。

海原士業会では新規会員を募集しています。ご興味のある方は海原会のホームページよりご連絡ください。



震災から2年 報道現場で考えたこと

平成元年卒
蘭草英己
(現福島テレビ 報道部)



私の勤める福島テレビはフジテレビ系列局から毎週取材クルーの応援を受けている。福島発のニュースを全国ネットに乗せ続けるためだ。インターネットにもニュースをアップし続けている。私は一生福島のニュースに向き合うつもりだ。

会社前の公園に設置された線量計は「0.3マイクロシーベルト時」を示している。原発事故前の10倍の放射線量だ。「これくらいの放射線量なら健康への心配は全く無い」と考える人、「嘘だ。保証できるのか」と反応する人。議論が交わることは無い。県外に避難した人は「ふるさとを捨てた」と言われ、県内で生活する人は「子どもを見殺しにしている」と言われる。

放送で抗議メールも

「放射線を気にして子どもが家に閉

じこもりストレスをためるよりは、外で思い切り遊んだほうが良い」私は番組で発言した。抗議のメールが届いた。メディア情報(特に安心情報)に対する信頼感は必ずしも高くない。真実とは何なのか。途方に暮れた時もある。福島での生活は安全なのか。結局、誰も答えてくれない。テレビ局が答えなくて誰が答えるのか？私はそう考えている。

2年はあまりに短い

今年2月。福島県浪江町から愛知県へ避難しているご家族にインタビュー

一生福島を応援する

3月11日。アメリカ版ヤフーのホームページを見る。東日本震災のこと何事も載っていない……突然ふるさとを奪われた人々にとっては、2年というのはあまりにも短い時間であるはずなのに。

私は一生、福島を応援し続ける。

もし、みなさんが飲みに行く店に福島酒があったら、時々一杯飲んで欲しいと願う。

セッシェウ!

昭和28年卒
片山忠美



戦後数年私は中学生だった。母校で早川雪洲の講演があった。ハリウッドの高名な俳優で海城の先輩とのこと。それと1957年制作された米英

合作映画「戦場にかける橋」では堂々たる存

在感(この時71歳)をみせつけた。他にはこの人についてあまり知らないでいた。新聞の読書欄の書評の「セッシェウ」なる書名が「雪舟ではない」「雪洲」だった。いまだに何事と読んで、一人の男のすさまじい生き方に驚かされた。もうひとつの主題として、伴侶であった鶴子との関係が古今東西に通じるオトコとオンナの典型ともみえ、男には書けない本ではないかと思った。

明治19年(1886年)生まれ。1904年に海城学校卒業。海軍兵学校の受験に失敗。切腹を企り、禅寺にこもり、苦悶の末に渡米を決意し、1907年サンフランシスコに上陸。荷物の中には日本刀一振りがあった。

一方の鶴子は川上音二郎(伯父)の一座の子役として渡米したが、一座は破綻し、彼女は日本人画家青木年雄の養女として残り残される(1899年10歳)。成長してハリウッドの人氣女優になる。

雪洲は1913年、脚本家、演技者としてハリウッドの会社で職を得、鶴子との運命的な出会い、結婚。黎明期の美男スターとしてたちまち財を成し、チャップリンと覇を競う。映画(無声)は世界の大衆の心まで掴んでしまう初めての媒体といえるだろう。鶴子は雪洲を支える役に徹し、生涯揺らぐことがなかった。二人の間に子はなかったが、雪洲が他の女と生じた三人の子

した。
「これまでの生活は? 今どんな気持ちか? ふるさとに戻りたいか?」上手く答えを引き出せなかった。

しかし、「言葉としてまとまらない状態なのだ」と言うことが分かった。

家を失い生活基盤を失った人に、考える時間など無かったのかもしれない。

を引き取って育てあげた。

時代は科学の急速な進展(トーカーからカラー、そしてテレビ)、一次二次世界大戦。日米の反目、終戦。二つの母国から時に称賛され、時に屈辱を受け、一度やりたかったカジノで大負けしたり、経済的にもどん底を経験しながら、離れ離れに暮らしても雪洲の猛進は止まらず、鶴子は彼を支え続ける。立ちほだかる壁をふち破つてしまふひと組の男女。二人が紡いだ現代の神話。余談だが大島渚が脚本を残していたことだ。

鶴子は1961年に死去、72歳。雪洲は2年後に再婚。映画やテレビにも出演、1973年死去、87歳。

海城卒の議員2名誕生

昨年12月16日に実施された衆議院議員選挙において、我が海城高等学校を卒業した2名が初当選を果たした。

昭和48年卒業の宮沢隆仁氏(日本維新の会)と平成11年卒業の村井英樹氏(自由民主党)である。

宮沢氏は海城高等学校を卒業後に医学の道に進んだが、ドイツの研究所で勤務していた平成元年にベルリンの壁崩壊を現地で目撃したのが政治を志向する原点となったという。医師としての経験を踏まえ、「日本の医療システムを改革したい」と出馬を決意した。

村井氏は海城高等学校卒業後、東京大学を経て、財務省に入省。税と社会保障の一体改革、農林水産行政、通商交渉、ハーバード大学院留学を経験する中で、「政治改革なくして、日本の復活なし」との思いに至り出馬、当選。

海城OBである二人の政界での活躍に期待したい。

(平成13年卒 内閣府 濱村康介 記)



写真右 村井英樹氏
写真左 宮沢隆仁氏

いらか
薨職人

金子五郎さん
かねころう(昭和27年卒)



「職人」——実にひびきがいい。そういう語感、実は日本文化そのものに根ざしているように思われる。と、なにかの本で読んだことがある。金子さんは瓦葺き職人としてその伝統文化の一翼を担った人だと思う。

時代の趨勢で都会は瓦屋根の家が少なくなっているが、地域によっては個人宅であれ、大事に保存継承されている。

30歳の造形作品

金子さんは地元地域に根づいた農家の子であつたと言う。「百姓の子が周りから反対され、海城の高校から入ったんだよ」(笑)

戦後間もなくの、この時代は生活が苦しかったが、それでいて親の勧めで将来を考え海城に入ったとか。だが、勉強より技術を身に付けることも必要であつた。そして卒業して

修業を積み瓦葺職人になったと言う。

今は新興住宅が立ち並ぶ街になつて、金子さんの家だけが、押し寄せるマンションビルの中で、断固として一戸建てに住んでいる。ひととき万年季の入った平屋があり、入ると三径があり、庵の形をとつて無人の様子、その奥にもう一軒二階建ての家族の匂いのある家がある。

「あの平屋は最初の家で俺が建てたんだよ！30歳の時かなあー」

なにかあるもの材で作った感があるが、若かりし日の記念すべき造形作品だ。

長男 次男が後を継ぐ

時代が変わつた。近代建築工法に変わった。瓦屋根が少なくなった。金子さんの話によると高齢と共に辞める人が多くなったと言う。

3・11震災で、それこそ多くの家屋が破損した。金子さんは瓦も不足しているが、職人が居ないことに残念がつていた。特に地域によって材質が違う。瓦と言えば一般的には粘土瓦だ。銀

色の何とも言えない色。職人芸の技の見せどころだ。金子さんは倉庫から幾つかの瓦を持つて来た。いぶし銀に光った瓦、文様の付いた瓦、要所に使う瓦、薄くて重い瓦など等。変わった所でスペインから取り寄せた西洋瓦、これらはエクステリアでも使うようになったと言う。職人技も多様になった。

薨職人と言うのは屋根の上の文化職人と言つていいだろう。

また世間から、さらに業界仲間から尊崇を得ないとやっていけないだろう。ものつくりに通ずる理念だと思ふ。あの職人なら安心して任せられる存在。だからこそ心底、人間性と言うか人格まで評価されるに違いない。この姿こそ日本社会の原型的な特徴といつていい。

今、その仕事を長男の息子さんが後を継いでいる。更に次男の息子さんも後を継いでいる。二人とも独立している。

薨職人の見た情景

● 梶 宏光氏(昭和37年卒)は海城出身の数少ないプロゴルファーの一人。現在はその活躍の場をベトナムに求め、現地で旅行会社を運営するともに若手ゴルファーの養成などを行っている。

プロを目指した動機は、何ですか？ 修行時代のご苦労などお聞かせください

りたくない、入学前にやめてしまいました。母親は、涙を流して反対しましたが、将来自分の子供には、自分と同じように救済の思いはさせたくないと説得しました。

して、何回か訪ねるうち、日本人向けゴルフツアー専門の会社を興すことにしました。12年前のことです。ゴルフ場はホーチミン近郊で10箇所あり、フランス統治時代からの食文化も残り、「ゴルフ&グルメ」が好評でわが社の「売り」となっています。現在は旅行会社の経営と共に、在留邦人、プロ志願の子供、アジアツアー参戦のフランス人などをコーチしています。また、貧しくて学校に行けない子供たちをサポートするNGOに日本領事館シェフ協力による特製サブレーの売上げを寄付する活動などを行っています。

.....

家の近くに小金井カントリー倶楽部があり、海城高校時代、日曜日や、夏休みなどにキャデールのアルバイトをしていました。キャデールは原則、ゴルフは出来ませんが、暇な時、練習場の隅

またその間LPGA住年の名選手、

その陰では相当のご苦労があつたと思

梶氏は、中年をかなり過ぎて、ベトナムに渡り、今日の成功を得たものの、その陰では相当のご苦労があつたと思



玄関の前に手入れが行き届いた枝ぶりのいい五葉松がある。庭には黒松、奥には赤松、手入れが大変なんだよと言いながら、松葉の一つひとつを間引きして、貴族のいい柘植の木、足元は葉一つ無く、縁起のいい風情が小世界を作っている。ふと、能楽の「高砂」を思い出した。良く似合うからだ、きつと何十年と仕事で渡り歩いた瓦屋根の風景と共に、体に沁み込んだ風景だろう。想像するに、頭上に鬼瓦に軒丸瓦と清楚な樹木、それに職人の心意気が一体となって心象美が迫ってくる。日本文化の一端を担い、身を労する職人に敬意を感じる。この人も我ら海城人だ！ (山本満男 記・絵)

わが海城人

梶 宏光さん
かじひろみつ(昭和37年卒)

ベトナム・プロゴルファー



地域医療に取り組む

雨宮哲朗さん
あめみやてつろう(昭和62年卒)



雨宮哲朗さんは昭和62年に海城高校卒業後、名古屋大学医学部に進まれ医師となった。その後東海大学の法科大学院を経て、現在は、北海道の美幌町立国民健康保険病院の総合診療科・腎臓内科に勤務されている。雨宮さんにお話をうかがった。

★医師を目指したきっかけは？

私の家は明治維新のころから5代続く漢方薬の薬局なんです。日本では西洋医学も漢方も医師が扱えるので、医師という立場からより広く患者さんに関われると思い医師を志望しました。

私たちの卒年は受験制度が大きく変わった年で、いろいろな巡り合わせから名古屋大学の医学部に進むことになったのですが、これが非常に新鮮でした。単純に東京を小さくした街なのかと思っていたのに、文化的に全く別物！入学当初は戸惑いました。でも、持ち前の適応能力であつという間に「オレの街」にしましたけどね(笑)。

医師としての専門は腎臓・内分泌・代謝。要するに糖尿病など生活習慣病が対象で慢性腎臓病の発症や悪化を防ぐことを目的とする分野です。

★第二線で活躍されていたわけですが、途中で法科大学院で学ばれたのはどういった心境の変化だったのですか。

昔から法律にも興味があつたんです。ちょうど法科大学院の制度ができて、法律未修者も法律家を目指すコースがあるというので学んでみようと思

ドナ・ホワイ特からレッスンを受ける米ゴルフティーチングプロの資格を得ました。

ベトナムには、どのような縁で行かれたのですか？ 現在、どんな活動をされていますか？

会社員時代、知り合った大手商社の友人が、ホーチミンに赴任してい

ました。医者という仕事は専門性が高くなる一方で視野が狭くなりがちです。社会性のある人間になりたかつたというのが本音でしょうか。だから、転身するつもりではなく司法試験に受ければいいぐらいの気持ちでした。

しかし、医師を続けながら法科大学院に通うというのは並大抵のことではなく、大学院は何とか修了しましたが、結局司法試験受験生は涙の引退(笑)。しかし、この経験は自分にとってすごく生きています。医療と法律は意外に密接なんです。医療行為を2つの立場から見ることができるようになったのは非常に良かったです。

★いろいろなことにチャレンジされていますが、地域医療に飛び込んだきっかけは何だったのでしょうか。

高2の修学旅行の北海道が素晴らしい(笑)。というのはほとんど冗談ですが、元同僚で紋別の開業医の息子がいて彼から地域医療の話聞いたのが直接のきっかけでした。紋別の市長さんが地域医療のアドバイザーを探しているということで医療経営管理学を研究されている恩師を紹介したところ、しばらくしてその恩師から「休日夜間救命センターを作ったからセン

この国はなんと言っても、平均年齢27歳と若く、勤勉な国民なので、これからも伸びてゆくでしょう。

ところで、海城時代は、どんな生徒でしたか。運動部で何かされていたのですか。

部活はせず、自分で言うのも気恥ずかしいのですが、まじめに勉強する

長として来い」と紋別に呼ばれました。ちょうどタイミングも良かったので、えいやつと。もちろん使命感もありましたが、北海道へのあこがれは大きいですが、平成22年から紋別、そして平成24年からは美幌で勤務しています。

★地域医療ならではの問題、やりがい、はなんでしょうか。

まず高齢化など社会構造の変化スピードに、医療や介護の制度が追いつかないこと。日本全体が抱える問題ですが、医療過疎地域はより顕著になっています。美幌は他の地域より医療環境に恵まれています。人口規模が小さく医師が少ないので、自分の取り組みがすぐ成果にあらわれるのがやりがいに繋がっています。

★今後、目指すものは何でしょうか。

専門性を生かして生活習慣病のケアをし、この町の医療レベルを高めていきたいです。そのためには治療以前に健康に対する啓蒙が大事なのですが、医療過疎地はそこが足りないのではないかとしたいな。また、近い将来には、この地域で若い医師や医学生に地域医療について教えることが出来たらいいなと思っています。

われる。それを億尾にも見せず、明るく語ってくれた。

彼の更なる活躍を祈りつつ、いつの日か、海原会ゴルフ会、ベトナム大会を開きたいものだ。

(聞き手 安藤 浩)

★海城には若手医師や医師を目指す現役生がたくさんいます。何かひと言お願いします。

私はプライマリーケア(総合診療)の医師です。専門医も総合医も両方必要ですが、総合医の必要性は今後増えていくと思います。若い人にはプライマリーケア志向が比較的增加えているようです。地域医療に興味がある人は、是非この美幌に来てみませんか。美幌は、美幌峠の絶景をはじめ、近くに世界遺産知床・阿寒湖・摩周湖など有名な湖の数々と北海道らしき満点で、東京で育った人間にとつてあこがれの大地。東京直行便が1日5便もある女満別空港からたった10分です！

.....

エネルギーシユな雨宮さん。持ち前のコミュニケーション能力ですっかり美幌の街に馴染んでいました。北海道には他にも地域医療に取り組む海城OBがいるとのこと。修学旅行効果はまんざらでもないかもしれません。

(聞き手 国井信男)

同期会 クラス会 だより



昭和32年卒 KG32会 文集作りを計画

KG32会は、西尾勝治、松岡征治両氏を幹事として毎年1月の第二金曜日に同期の藤原亀古君のお店、東京吉祥寺ピザハウストニー（TEL 042-249-1021）で同期会



を行っています。我々も75歳を迎え、先生方も高齢になつて、時々参加される大貫先生以外は年賀状や文通による交流しか出来なくなっています。しかも我々の仲間も少しづつ亡くなられている状況です。そこで、今年のKG32会では皆で文集を作ろうと提案して、書いていただくことにしました。この会に参加されていない他の同窓生についても、ご参加頂ける皆様方をお願いする次第です。原稿の募集要領はこの会報の最終裏面にある「お知らせ・掲示板」に詳しく載せておりますのでご覧ください。（佐藤光司）

第1回 海原三五会

創業は易く守成は…

平成24年11月10日（土）、新宿の「虎連坊」で同期会を開催した。これまでに何回か総会閉会直後に行なっていたが、名称が海原三五会に決まっていたので集いなので第1回とした。

6月の総会で会ったばかりなので参加が少ないかと思われたが、41名も駆けつけて会場は大賑わいとなり、二次会でも歳を忘れて大ハシヤギ！

生物部だった川村君の語で、関下先生をゲストにお迎えし、海城の発展の兆しが表れ始めた当時の様子から現在の隆盛に至るまでの貴重なお話を伺うことが出来たが、先生の豊饒ぶりを見習わなくては。

ところで、この会の今後を思った時、ふと、カイゼル髭で如何にも漢文の先生然とした畠山先生の教えが浮かんできた。「創業は易く守成は難し」である。確かに、今日まで取りまとめた

きた幹事諸氏の苦勞は大変だったと思う。然し、これまでは言わば「創業」で、本番は今後の「守成」。幸い最近では40名を超える、まとまりの良さ！を見ている三五会である。杞憂であることを願って止まないと同時に、微力ながらお手伝いさせて戴こうと思う。（渡辺育男）



海原三六会 古希を祝う集い

紅ずわい軍団

昨年11月30日新宿東京ガス四ツ谷クラブにて同期の古希を祝う集いを49名の参加で開催致しました。今年の海原会総会で着装のお揃いショッキングピンク70マークポロシャツで集合写真を撮りましたが、ホルマーネージャーから

老いを知らない紅ずわいがに、との感想を頂きました。色も姿もカニの表現に一同納得し大爆笑。遠路ハワイ・関西・東北と初の参加者3方と瞬間の二時間半でした。（赤石 浩）



海原三九会 同期会忘年会

50周年卒業表彰目指して集まろう！

昨年11月27日神楽坂の「ローズルーム」で恒例の忘年会を開催いたしました。

卒業後48年ぶりに野球部の丹羽君が出席して当時の野球部や柔道部、卓球部での活躍や当時の学校での出来事や同期の仲間たちの卒業後の消息が話題になり大変盛り上がりまし



た。平成26年同窓会の50周年卒業表彰に大勢参加を集めるために各部員やクラスの仲間と連絡する事になりました。今回の出席者は写真の右から宇井世紀（旧姓宇世紀）、照井耕之助、吉岡博、川瀬幸一、丹羽秀夫、田崎祐輔、横井信一、鶴殿幸夫の8名です。昭和39年卒の皆さん是非総会にはご参加ください。（川瀬幸一）

昭和57年卒 4組クラス会新年会 3次会まで盛り上がる

2013年1月12日（土）に昭和57年卒4組のクラス会（新年会）が新宿で開催されました。初参加3名を含むクラスのメンバー12人に、担任の鈴木元明先生をお迎えし、中華料理の1次会から2次会、3次会と、延々と盛り上がり続けました。



(杉田直孝)

参加者各々から「卒業後30年」の話があり、皆さん苦勞しながらも文科系の専門・経験を生かして幅広い領域で全世界的に活躍、あるいは自ら企業を立ち上げて社長に就任という近況の報告がありました。また、喫煙が發覚して鈴木先生が家庭訪問した話など高校時代のエピソードを思い出して語り合い、楽しいひとときを過ごしました。そして、我々がかけがえのない友人であることを再確認し、またの再会を約束してお開きとなりました。

なお、出席者は次のとおりです。次回にはまた新たなメンバーも含めて再会できればと思っています。

鈴木元明先生、内田勇太、齋藤嘉一、坂井陽爾、阪本三四郎、菅沼一郎、高城知行、高田賢治、平國志央、山口恩門、横山伸一、星野宏樹(幹事・お疲れ様でした)、杉田直孝

昭和62年卒 同期会 人間たいして変わらなない?

昭和62年卒はこれまでクラスごとに集まっていたが、今年から10クラス横断の同期会に衣替えしました。3月9日(土)海城学園カフテリアにおいて行われた同期27名の卒業生と2名の恩師が出席。今年で退職される福島羊一先生の軽妙なトーク&乾杯でスタートとなりました。

「えーつとおまえ誰だつて？」はあまりに悲しいので、卒業写真の画像付き名札を準備。照れ隠しに変顔で写っていた人、当時と現在があまりに変わった人の場合、結局「えーつとおまえ誰だつて？」でしたがいいネタにはなりました。若き日の自分のイケメンぶりを家族に自慢するため名札を持ち帰った人もちらほら。

ビール飲み飲み思ひ出話に花を咲かせましたが、まあ、その様子たるや四半世紀前の昼休みのグダグダお喋りそのまます。太ろうが頭が寂しくなろうが人間は大して変わらないモノですね。

あつという間の2時間が過ぎ、締めは中村先生。我々を担任していただいたときは31才の青年教師！我々のクラスを担任された恩師の中で、来年度も在職されているのは中村先生だけになつてしまいました。

同期会はまた来年も…、といったところですが、5月19日ゴルフコンペ(於…大栄CC)をやることになったので、またすぐに仲間と会えることになりそうです。この投稿を見た昭和62年卒の人！あとちょっとだけ枠があ



るので、行けそうならばfacebookでたどり着いて国井・景山まで連絡をください。(国井信男)

昭和63年卒 同期会 会報初登場の同期会

2013年早々の1月5日、今まで卒業以来24年間、海原会会報に登場したことのないS63の同窓会を、新大久保にて開催したことを報告いたします。

本会は昨年6月、台湾在住のイトン(海中出身、高校7組)の帰国に合わせ、facebookでのお知り合いを契機に、十数年ぶりに全組で会える人だけ飲んだくれで落ち会ったことを発端にしたことであります。



正直、投稿者の筆者は飲んだくれてしまいい既に会の中身は覚えておりません。途中、あやしい6組出身のしまりょうすけ君が突如登場するなど、スリリングな同期会であつたことは髪の毛が覚えておりました。

今回は、5組卒業の小久保君の家業の蕎麦屋「千歳烏山の藪乃大作」で開催(全員来れば360名)入るわけない！が決定しましたので、いつも海原会報しか呼んでない同期諸君はfacebookに登録の上、秘密の組織「海城1988」に登録、または各組の暴対法には関係ない組長に相談の上で参加くださいませ。

筆者は海原会会費を未納なためきちんと周知できるか不明ですが、危機管理上の別ラインとして2組ニノミヤさんが問い合わせに応じます。

※出席者…青木、川那辺、二宮、丹

平成5年卒 小林組クラス会 小林先生を偲んで

小林先生が亡くなられてはや1年。小林先生を偲ぼうと、今年のクラス会は命日の前日、2月9日に開催しました。場所は平成5年卒おなじみの六本木「からこま」。

企画してから、当日は3連休の初日だったことに気付くという幹事の不幸際もあり、参加者は小川君・杉山君・服部君と私の計4名。

それでも、アラフォーな私たち、それなりの経年変化？に互いに突っ込みあったり、近況を語り合つて盛り上がりつつあったところ、ちょうど国井先輩ご夫婦が偶然に来店されました。

その後一緒にいたとき、怪しい小林先生のウオッカに涙を流しながら



羽、辻(2組)、原(6組)、岡部、定留、河村、熊井、3へイ、ストン、しま、三浦(2組)1:6倍、オーノ、常山の16名。(常山修治)



1月12日(土)に、毎年恒例の学年同窓会を開催致しました。今年も例年通りの人数が集まり、村上先生・井口先生を迎え、母校カフテリアにて近況を語り合いました。それぞれの分野で活躍する皆さんの話や新たな世界に挑戦する話が聞けて、とても刺激を受けました。

学年同窓会は、今後も毎年1月に開催予定です。皆さんお忙しい

平成14年卒 第8回学年同窓会 毎年1月に開催予定

ら、懐かしく楽しい小林先生や海城の思い出に盛り上がり、結局何時間飲み続けたのかわからないほど。

ところで、私たち平成5年卒はなんと卒業20年の記念の年！何か記念のイベントでもと期待していますが、このクラス会でも、「天杉」(杉山君の実家)で飲むか！という案も出てきました。

どうしようか？楽しみにしています(笑)。(下川原優一)

平成21年卒 1組会 お酒飲める年齢に

卒業から3年、ようやく全員がお酒を飲める年になり、村松先生を囲んで卒業してからのもので語ろうか、という事でクラス会が開催されました。

先生と飲むときにはどうすればいいのか、ということが分からない僕は少し緊張していましたが、お酒がすすむにつれ先生のテンションも上がり、最後にはかつての学生生活のような、男くさい盛り上がりを見せることとなりました(笑)

先生が帰られた後の二次会ではまるで昨日まで一緒に授業を受けていたかと錯覚するくらい気を置かずに楽しむことができて、やはり高校の同窓生は一生ものだなあと実感しました。

今後は社会人になり、会える時間が減ると思いますが、できるだけのこのような機会を設けて、お互いのことについて語り合えたらと思います。

(安井大貴)

OB会

鉄道研究会OB会 創部45周年

去る1月5日(土)、毎年恒例の海城鉄研OB新年会が、お馴染みの新宿「いさみ」にて開催されました。

本年は顧問の井口先生や昭和34年卒から平成24年卒までの総勢32名にご参加いただきました。小林先生の思い出話や最近の「鉄分」報告などが交わされ、会は大変盛り上がりしました。

また今年は海城鉄研45周年という節目の年にあたることから、恒例の貸切記念列車を運行する予定です。現在詳細を詰めておりますが、鉄研OBに限らず、広く海原会員の皆様に参加して頂きたく、決定次第お知らせします。



野球部OB会

東京ドームで交流試合

3月24日(日)に海城高校野球部OB会と関東学院高校野球部OB会の交流戦が行われました。



第1回は神宮球場、第2回は東京ドーム、そして第3回は東京ドームでの対戦です。恒例となった感のある交流戦。3連敗はなんとしても避けたいところでしたが、1点リードしていた最終回に守備の乱れから逆転を許し、惜敗してしまいました。

試合には敗れたものの、試合に出られるコンディションの選手は全員が出場

海城鉄研OB会では、引き続き会員を募集しております。

参加を希望される方はinfo@kaijokenob.comまで、お名前と卒業年をお伝え下さい。

(平成21年卒 関口和樹)

東京ドームで白球を追うことができた。

第4回交流戦の日程は未定ですが、決まり次第海原会ホームページにて告知いたします。

なお、今回の試合の詳細は海原会ホームページにて公開中です。

文化実行委員会生徒会OB会新年会 年相応の話題もちらほら

1月2日という正月休み真っ只中に文実(海城祭の実行委員会)及び生徒会のOBの一部が新大久保に集い、恒例の新年会を開きました。参加者は中年層から若手社会人まで幅広いものの、口を開けば皆若かりし日のノリに戻るようです。ただ近年は健康診断結果や頭髪の変化など、年相応の話題もちらほら。今年も海城祭の時期にまた集まりますので、今回を逃した方もぜひご参加ください。

(平成22卒 岡本浩太郎)



海城学園での勤務を終えて

英語科教諭 福島 羊一 先生

40年（講師時代を含めれば42年）の勤務の暮かとうとう降りました。人生の半分（ひょうとするとそれ以上）勤めて今振り返ると、何だかあつと言う間に過ぎてしまったように思います。思い出はまだまだ断片的で、時間の流れになかなか合わせられずにはいますが、昨年あたりから初期ころの卒業生たちが訪ねてくるが多くなりました。

送り出した最初の卒業生は今や56歳！わずか9歳しか差がありません。みんなすつかり立派になつており、感無量です。



創立から拘わつた「バドミントン部」も、同好会時代を含めればわたしと同じ満40歳。しっかりとOB会も出来つつあります。体育館を使わせてもらえず、4号館と理科館の通路に句帯を張つてコートを作り、練習を重ねたことをなつかしく思い出します。全く基礎も出来ていないのに、他校に練習試合を申し込むなど意欲はすばらしいものがありました。34年前、中学野球部から転部して高校バドミントン部に入つて来たる場招人君が中

心となつてから一気に力を高め、都内でも常にベスト4に入る強豪となり、1981年には個人シングルとは言え、彼は東京代表としてインターハイに出場しています。第3試合で敗退したとは言え、敗れた時の相手はその年の優勝者であつたことは、忘れられない思い出です。

この5月、第20回定期演奏会を迎える「吹奏楽団」も創立から拘わりました。27年前の海城には合唱を主とする音楽部があり、その部員の中の数名から「吹奏楽団」を作りたいと相談を受けたのが始まりです。理事長先生、当時の校長先生から深いご理解と積極的な支援を受け、よりよくながら活動を始めました。学校の講堂を使つての「第1回定期演奏会」をスタートさせ、さらに【井の中の蛙】にならないよう、練馬文化センター小ホール（収容600程度）を使つてのコンサートを開いた時は、不安で一杯でした。

やがてこのホールが満席となり立ち見まで出たことから、現在の中野ZERO大ホールへ移り、数年して1,000名を超える聴衆を目の前にしたの感動は今でも忘れられません。

両者とも今や盤石の基盤を作り上げ、若いすばらしい顧問団に恵まれています。間違ひなく発展し続けていく事でしょう。数え切れないほどの思い出にめぐまれ、去ることの出来る幸せを噛み締めています。これからは学外の応援団の一員として見つめていきます。本当に、本当にありがとうございます。

定年退職を迎えて

数学科教諭 木村 直毅 先生



凛々しい詰襟の学生服と知的でシャイな海城生とのコントラストは、微笑ましくもあり、退職した今となつては、懐かしくもあります。今年の三月十九日の校門の若い桜樹いっばいに花を付け本当に見事でした。私は、その桜花に送られるようにして、四十一年間勤めた本校を卒業しました。

「先生とは、次の四十一年後にまた会いたいのです。」今年度、高校二年生になつた生徒から記念品を頂いた時の代表の生徒からの言葉でした。

『僕には到底無理だよ。』と笑いながら答えましたが、この生徒達のその頃は、社会の中枢で頑張っている姿を想い描いては、微笑んでいます。私も心身とも元気で、その姿を見たいとい

思っております。

着任初の職員会議で、私の隣に座つていたのは、尾木ママこと、尾木直樹先生でした。

その尾木先生から、「木村さんね、自分のことを先生と云えるのは、多くの生徒から尊敬されるようになってからだよ。」と忠告を受けました。それ以来、私の一人称は、ボクかワタシで通し、センセイは、とうとう使えずに退職を迎えました。

海城の教育目標の一つに、「小さな紳士たれ！」という標語があります。私も生徒の指導に時々引用しました。

その目標の具象化に、一つは、完全中高貫教育の完成、もう一つは、グローバル化があります。私にとつて、何回か中学の学年を任されたことや、海外研修の場所の設定に実踏させていたこと等を通して、本校の教育目標に側面から協力できたことに誇りを感じております。

海城のますますの発展と卒業生たちのさらなる活躍を祈念しながら筆をおきます。

訃報 寺崎央くん、逝く

「海城36会」の一員で、本誌でも紹介された『癌一髪』（マガジンハウス）の著者・寺崎央くんが、旧年の平成24年12月16日、その癌で逝つた。69歳だった。

寺崎くんは大学卒業後、大手出版社勤務を経てフリーの編集者・ライターに転身し、『週刊平凡パンチ』を主たる舞台に活躍。『ポパイ』『ブルータス』の創刊エディターに参加した。還暦を過ぎてからも意気軒昂。既存出版界の低迷を叱咤するかのよう、型破りの雑誌『オレキバ』（六曜社）の立ち上げに、中心メンバーとして加わる。

この雑誌のサイズがちょうど新聞を2つ折りにした大きさで、キャッチコピーが「いゝ大人の、えゝ大人による、えゝ加減の雑誌」。「オレキバ」は、片方の牙が折れた老マンモスの意で、要するに牙が折れようと年を食おうと卑屈にならず、群れに属さず堂々とやりたいことをやり、言いたいことを主張する。残念ながら資金続かず2号で消滅したが、その志、内容ともに、安全第一で挑戦をしない出版ジャーナリズムに一石を投じた。

映画、文学、写真、旅行、クルマ、ファッション、スポーツと取材対象は広く、軽妙にして洒脱な文体とともに異能ぶりを発揮する。高校時代、「オヤジが町医者だから頼んでやるよ」と、「よからぬ病」に罹つた友人の窮地を救った逸話もある。彼のお世話になつた人間は多いはずだ。

『癌一髪』では、癌に取りつかれた自らを客観的に観察し、楽しんでしまうという編集者魂を見せてくれた。「伝説の才人」の卒然たる死を惜しむ。合掌。

（昭和36年卒 瀧本 喬）



訃報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます。

昭36	昭33	昭28	昭27	昭23	昭20	昭17	昭16	昭13	昭10
寺崎 央	小林 英治	益田 芳徳	長谷川定夫	宮下 光男	天田 尚孝	小野 建	久藤平八郎	小菅 敏郎	瀧川 具秀
24・12・16	25・2・14	22	23・12・28	19	24・11・3	24・2	23・2・20	24・10・29	
昭55	昭51	昭50	昭43	昭42	昭41			昭40	昭38
田中 幸宏	久保田賢一	高橋 宏和	折本光太郎	中西 正高	鶴田 憲雄	柿沢 真	山田 豊	栗国 永壽	原田 利行
25・1・1	24・9・末	21・12・22	21					24・12・11	24・8

山岳部

部員／35名

それでも昨今の山ブームもあってかこのところ新入部員が増えているという。現在部員は35人。入部の動機は「山が好き」「自然が好き」「父親に連れて行ってもらった」という人が多いが「団体競技のない運動部」ということで入部する生徒もいます」とは顧問の古田匡先

競技のない運動部 生涯楽しめる基礎作る
創部は昭和25、6年ごろと歴史は古い。OB会の名簿をみると平成8年までで147人、それ以後を加えると200人には超えているという伝統ある部である。しかし意外とその存在を知る人は少ない。というのは運動部といながら、対外的に何か技術と力とかを競う部ではないからかもしれない。もともと山に登るのは自分との闘いであり同行の仲間、パーティでの連帯が重視される世界。団体競技のように外からの注目を浴びたり比較評価される世界とはかけ離れているからだろう。



生。部としての活動はロッククライミングや雪山は規制しているが基本的には生徒の自主的な企画を重視しているという。全体としては年間10回ぐらい近郊の秩父や奥多摩など1500メートル級の山を日帰り登山している。夏には日本アルプスなど3000メートル級の山で三泊四日の合宿を行っている。ほとんどが初心者なので顧問の先生やOBが靴ひもの結び方からリュックの背負い方、テントの張り方、装備など細かな基礎的な事を一から教えているという。話を聞いていると門外漢の私にも山岳部の良さは仲間との強いつながりができ、その中で責任感を養い、さらにやり遂げ克服した達成感を得られることにあるだろうと想像がつく。合宿の後には涙を流して感動する生徒も出るというが顧問の平山裕之先生が生徒に望むことは「山を楽しんで卒業してもその楽しさを広めてほしい」という。しばらく交流が途絶えていたOB会も再び活動を開始したという。山愛好者を確実に増やしている。(小西洋也 記)

古典芸能部

部員／34名

「学校ではおせえてくれない」部活動!
古典芸能部は創立して7年目を迎える。「部」として昇格したのは確か3年前である。つまり、出来立てのホヤホヤだが躍進に次ぐ躍進で部員34人の様相を呈している。部員は芸名を持つている。例えば「海原会」の名跡にあやかつて、卒業した初代海原亭創太君初め、現役では海原亭創雲・凌雲・二代目創太・雲甫・創櫻・箒と言った具合で、この門だけではなく四つの一門があると言う。落語だけではなく。漫才あり、コントありで、各得意分野を持っている。それこそグローバルに「芸能」とは「の世界を探索し、表現者として余念がない。この表現者たちは著名な落語家の嘶を聞いて、「俺だったらこうする」と創作意欲を燃やしている。彼らのアンテナと頭の中の引き出しがあつてこそと思う。そのアンテナを覗くと、落語家はもとより学者・議員・作家・役者・タレント・編集長などと接



し可愛がられていると言う。これほど多彩な人達との交友は類例がない。
訪問した日は送別寄席があつた。この3月に卒業した海原亭圓両師の引退公演を披露した。みんなからの送別の辞は、ある時は生徒らしく、ある時は嘶家らしく盛大に送った。そのあと、新中二の大家一人を紹介された。先が楽しみになつてきた。現況を聞くと、課外活動で出前寄席を近所にある児童会館で定期公演、また他校(芝・浦和)との交流寄席を行なっていると言う。更に著名落語家の舞台裏まで探訪する。彼らの稽古は実戦練習で磨き上げているようだ。「人前で話をする事が嘶に通じる」これが教育の理念に「脈通じる事かと思う。顧問の川崎先生は「確かに機転が利いて、気配りができるようになり、状況判断がスマートになって、それが手に取るように分る」と言う。また「これらは机上の学問で学べない、いわば学校ではおせえてくれない所でしょう」と力を添えた。(山本満男 記)

永年会費納入者 (敬称略)

昭36	山崎 勝夫	(五万円)	平成24年11月から 平成25年3月まで (受領日順)
昭35	寺門 和也	平24	中川 佳直
平4	匿名希望	平24	小田切英一
(五万円)		昭54	大谷 聡
平3	荒川 雄介	昭56	石橋 真一
平24	堀中 誠一	平14	綾部 信哉
平24	新井 久旺	平23	江口 遼
平24	新井 健人	平19	巻島 隆雄
平9	桜井 敬之	平4	西岡 昌哉
平24	沢藤 拓	昭49	川島 隆
平22	前田 勇	昭38	青木 次雄
平24	守 拓郎	平12	山本 周平
昭57	新井 雅幸	平11	船津 道央
平17	清水 優	平23	山本 亮
昭61	邊見 弁	平22	数間 貴紀
平14	白岩 智		
平22	小林 直喜		
平23	宮田 直人		
昭52	舟橋 弘道		
平24	堀内 空		
平24	吉本 寛		

永年会費を納入されている方にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されていますが、ご了承ください。

25年度大学入試結果概観

さて、大学入試結果は別表の通りです。

東大合格者数に関しては、文系全体では現役、既卒ともに昨年に比べ増加しました。理系全体では昨年に比べ現役、既卒ともに減少しました。今年度のセンター試験は難化し、平均点は東大受験生でも昨年に比べ30点近く下がりました。総合点(センター+2次)の平均点も大きく下がっていますので、2次試験も難化したといえます。従来、海城生が得意とされてきた2次での逆転満塁サヨナラホームランが阻まれた入試であったといえます。

京大志向は今年も健在でした。ただし、これらの大学を除いては地方の大学へ進学する傾向がそれほど強くなったわけではありません。

国公立医学部(防衛医大含まず)の合格者数は東大理Ⅲを含め43(うち

国公立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
東京大学 前 39 後 1 合計 40 (現役28,卒業生12)	文Ⅰ	7		5		2	
	文Ⅱ	5		3		2	
	文Ⅲ	7		4		3	
	理Ⅰ	12		10		2	
	理Ⅱ	5		2		3	
	理Ⅲ	3		3		0	
	後期(理Ⅲ除く)	1		1		0	
京都大学 合計10 (現役9,卒業生1)	文	2		2		0	
	法	1		1		0	
	経済	2		2		0	
	教育	0		0		0	
	総合人間	1		1		0	
	理	2		2		0	
	工	1		1		0	
	医	0		0		0	
一橋大学 前 11 後 5 合計 16 (現役12,卒業生4)	業	0		0		0	
	農	1		0		1	
	法	1		1		0	
	経済	11		9		2	
東京工業大学 前 12 後 0 AO 2 合計 14 (現役12,卒業生2)	商	2		1		1	
	社会	2		1		1	
	第1類	0		0		0	
	第2類	0		0		0	
	第3類	2		2		0	
	第4類	3		3		0	
	第5類	5		4		1	
北海道大	第6類	3		2		1	
	第7類	1		1		0	
弘前大		8		6		2	
東北大		1	1	0		1	1
秋田大		9	3	2		7	3
茨城大		1	1	1	1		
筑波大		1		0		1	
群馬大		12	2	10	2	2	
埼玉大		4	3	1	1	3	2
千葉大		3		3		0	
東京海洋大		13	8	9	5	4	3
電気通信大		3		2		1	
東京医歯大		2		0		2	
東京芸大		4	4	3	3	1	1
東京農工大		1		1		0	
横浜国立大		5		1		4	
新潟大		13		9		4	
富山大		2	2	1	1	1	1
金沢大		1	1	1	1	0	
山梨大		1	1	1	1	1	1
信州大		3	2	1	1	2	
静岡大		2	1	1	1	1	
名古屋大		1		0		1	
大阪大		2		1		3	
神戸大		2		1		1	
岡山大		2		1		1	
徳島大		1	1	0		1	1
九州大		4	2	0		2	2
長崎大		2	2	1	1	1	
札幌医大		2	1	1	1	1	
福島県立医大		2	2	0		2	2
高崎経大		2	2	1	1	1	1
首都大東京		1		0		1	
横浜国立大		3	2	3	2	0	
静岡県立大		1		0		1	
京都府立医大		1	1	0		1	1
防衛医科大学校		2	2	0		2	2
気象大学校		1		1		0	
国立看護大学校		1		0		1	
国公立大学・大学校総数		199	41	123	20	76	21

※ 「医」は医学部医学科の合格者数 (東大理Ⅲは除く)

海外の大学

	総数	現役	卒業生
Grinnell College	1	1	0

現役24)。理科コース在籍が229名なので、理科コースの5.5人に1人が国公立医学部にいずれ進学していく勘定です。また、これに私大を加えた医学部「進学」者数は64名(うち現役35)なので、いずれは3.6人に1人が医師の卵となっていく状況です。この背景には医学部への挑戦そのものが増えていることが挙げられます。現に、前期入試では、国公立医学部の受験者数が東大理系のそれを上回りました。ここ数年、医学部志向が加速していることは事実です。

もう一つ、全体を見渡して特徴的なのは、経済学部、商学部の合格者が多かったことです。文系の中でも実学的な学部が人気だったということでしょう。

最後に、今年度特筆すべきは現役進学率の高さです。卒業生も来期に向けて頑張してほしいと思います。心から応援しています。

(学習指導部長 森 昭大)

私立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
早稲田大学 合計176 (現役114,卒業生62)	文	7		7		0	
	文化構想	6		3		3	
	法	22		13		9	
	政治経済	23		15		8	
	商	27		15		12	
	社会科学	13		5		8	
	教育	11		8		3	
	人間科学	2		1		1	
	国際教養	5		4		1	
	基幹理工	19		14		5	
	創造理工	15		11		4	
	先進理工	21		13		8	
	スポーツ科学	5		5		0	
慶應義塾大学 合計130 (現役86,卒業生44)	文	6		4		2	
	法	5		3		2	
	総合政策	5		4		1	
	経済	33		22		11	
	商	34		21		13	
	理工	36		24		12	
	環境情報	1		0		1	
	医	7	7	7	7	0	0
酪農学園大	薬	4		2		2	
		1		1		0	
岩手医大		2	2	2	2	0	
獨協医大		2	2	0		2	2
埼玉医大		1	1	0		1	1
獨協大		1		0		1	
文教大		2		1		1	
明海大		1		1		0	
東京歯大		1		1		0	
青山学院大		1		1		0	
学習院大		17		12		5	
北里大		8		5		3	
杏林大		7	6	3	3	4	3
国学院大		8	7	5	4	3	3
国際基督教大		1		1		0	
駒澤大		6		5		1	
芝浦工大		2		0		2	
順天堂大		12		4		8	
上智大		13	13	11	11	2	2
昭和大学		33		16		17	
成蹊大		9	8	5	4	4	4
成城大		4		0		4	
専修大		2		0		2	
中央大		4		1		3	
帝京大		68		32		36	
東海大		6	1	3		3	1
東京医大		5		0		5	
東京工科大		8	8	3	3	5	5
東京慈恵会医大		2		2		0	
東京電機大		15	15	11	11	4	4
東京農大		4		2		2	
東京薬大		3		2		1	
東京理大		1		0		1	
東邦大		87		57		30	
東洋大		8	7	6	5	2	2
日本大		4		1		3	
日本医大		20	4	8	2	12	2
法政大		11	11	8	8	3	3
星薬大		27		16		11	
東京都市大		1		0		1	
武蔵野大		1		0		1	
明治大		97		46		51	
明治学院大		5		3		2	
明治薬大		3		2		1	
立教大		32		18		14	
立正大		1		0		1	
神奈川大		3		0		3	
桐蔭横浜大		1		0		1	
東京工芸大		1		0		1	
金沢医大		1	1	0		1	1
藤田保健衛生大		1	1	0		1	1
同志社大		1		0		1	
立命館大		11		5		6	
近畿大		1	1	1	1	0	
関西学院大		2		0		2	
私立大学総数		876	95	501	61	375	34

◎37年卒(みなの会)の皆様、総会・懇親会にご参加ください。
その後希望者が昨年同様、新大久保駅前のワタミを予定しています。(鷺田和雄)

お知らせ/ 掲示板

昭和32年卒業生各位 原稿募集

同窓会だより(10頁)でもお伝えしていますように、文集をつくることになりました。

募集要領

題目は原則自由ですが、先生、部活動、運動会、修学旅行、学友、旅行、合宿、その後の交友関係等、若かりし頃の思い出や恋や時代の世情あるいは、いじめなど感じたことをA4版1枚~2枚位にまとめて提出してください。また、皆様の持っている写真、資料、若い時の制作物の写真等送っていただければ幸いです。

原稿締切

平成25年7月31日(原稿の集まり具合によって発行日は変更)

発行日

平成26年1月17日(金) 次回KG-32会新年会の予定

(昭和32年卒 佐藤光司)

全国高等学校鉄道模型コンテストに出展

鉄道研究会では、今年の8月23日(金)、24日(土)に東京ビッグサイトで開催される全国高等学校鉄道模型コンテストに昨年に引き続き出展する予定となっております。なお、入場は有料(1000円)です。お時間のある方はぜひ足をお運びください。

公式サイト:<http://tetsudocontest.jp/index.html>

昨年の模様(海城PRESSより)http://www.kaijo-academy.jp/press/2012/09/post_514.html

海原会グッズ通信販売

海原会グッズはFAXやメール、ホームページでの注文もお受けしています。氏名・送付先・電話番号・ご希望のグッズの品番・個数をご連絡ください。

お支払いはグッズに同梱した振込用紙にてお支払いください。

※会報に同封されている振込用紙はグッズ代金の支払いには使用しないでください。

HP: <http://www.unabarakai.jp>

FAX: 03-3209-6990

※ホームページはトップページ右上の「海原会へのお問い合わせ・ご連絡」からお進みください。

※別途、送料がかかります。



Tシャツ(KSと錨のエンブレム2種)

品番	種類	価格
T1	Tシャツ(大きめのLサイズ)KS	1000円
T2	Tシャツ(大きめのLサイズ)錨	1000円



ポロシャツ(KSと錨のエンブレム2種)

品番	種類	価格
P1	ポロシャツ(Lサイズ)KS	2000円
P2	ポロシャツ(Lサイズ)錨	2000円



キャップ(3種)

品番	種類	価格
C1	青白	1200円
C2	青	1200円
C3	青刺繍入	1500円



120周年記念グッズ(バックナンバー)

品番	種類	価格
P3	ポロシャツ(Lサイズ)KS	1500円
T3	Tシャツ(大きめのLサイズ)KS	800円

編集担当

山本満男 (S27)
片山忠美 (S28)
石原長夫 (S33)
安藤浩 (S34)
小西洋也 (S41)
国井信男 (S62)
岡本浩太郎 (H02)

◎前号、カンボジア在住の小市琢磨氏と云い、今号の梶 宏光氏と云い異国の地につきかりと根を下ろし活躍する校友の存在は、頼もしく、嬉しいものです。(安藤)

◎話し言葉には感情移入が出来る。言語に移すと生彩にかけ、下手なんだなあ、反省しきりです。(山本)

◎今年の野球はイケそうな予感です。(国井)

◎卒業以来、登校は海原総会へ、海城祭へ。(片山)

◎最近、校内に入ると生徒、先生、PTAの方達から挨拶される機会が多いことに気付く。「入門証」の効果かもしれないが、伝統的に礼儀挨拶の厳しいことを思い出す。(石原)

◎大型対談での提言内容は海原会の更なる発展への道標と理解しました。(岡本)

◎構想2年? 特別対談が実現しました。掲載できなかった部分を含めてHPで詳しくお伝えします。(小西)

編集後記

◎前号、カンボジア在住の小市琢磨氏と云い、今号の梶 宏光氏と云い異国の地につきかりと根を下ろし活躍する校友の存在は、頼もしく、嬉しいものです。(安藤)

◎話し言葉には感情移入が出来る。言語に移すと生彩にかけ、下手なんだなあ、反省しきりです。(山本)

◎今年の野球はイケそうな予感です。(国井)

◎卒業以来、登校は海原総会へ、海城祭へ。(片山)

◎最近、校内に入ると生徒、先生、PTAの方達から挨拶される機会が多いことに気付く。「入門証」の効果かもしれないが、伝統的に礼儀挨拶の厳しいことを思い出す。(石原)

◎大型対談での提言内容は海原会の更なる発展への道標と理解しました。(岡本)

◎構想2年? 特別対談が実現しました。掲載できなかった部分を含めてHPで詳しくお伝えします。(小西)